

## 第2回 小石原川ダム環境保全対策検討委員会 議事要旨

日 時：平成25年8月2日（金）13：00～15：30

場 所：水資源機構 朝倉総合事業所 1F会議室

出席者：（委 員）古賀委員長、荒井委員、飯田委員、小野委員、松井委員、真鍋委員、  
森本委員、山根委員

（事務局）12名（報道機関）2社

資 料：

議事次第

資料－1 第2回小石原川ダム環境保全対策検討委員会 出席者名簿

資料－2 小石原川ダム環境保全対策検討委員会 設立趣意

資料－3 小石原川ダム環境保全対策検討委員会 規約

資料－4 小石原川ダム環境保全対策検討委員会 委員名簿

資料－5 小石原川ダム環境保全対策検討委員会の公開方法について

資料－6 第1回小石原川ダム環境保全対策検討委員会 議事要旨

資料－7 第2回小石原川ダム環境保全対策検討委員会 説明資料

審議内容等：

### 1. 事業の進捗状況について

事業の経緯、小石原川ダム検証の経過、小石原川ダム建設事業の流れ、工事進捗状況と平成25年度工事予定について、事務局より説明され、以下の意見を述べた。

- ・保全措置等を考えていく上では、主な工事の工程等を示されていた方が議論しやすいことから、次回以降の委員会では、その点を考慮して欲しい。

### 2. 第1回委員会の審議結果について

評価書の保全措置等、第1回委員会の意見について、事務局より説明され、内容を確認した。

### 3. 保全対策について

コキクガシラコウモリ（ねぐら環境の整備）、植物の重要な種（個体の移植等）、ヤマネ（新たな重要種の対応）について、事務局より説明され、内容を審議した。審議の結果は次のとおり。

- ・保全対策については、資料に示された今後の対応に沿って進めていくことで良い。
- ・なお、ミズマツバについては、人為的な管理が今後の課題となるため、例えば、地元の小学校等の協力を得て保全するといった対応も可能性としては考えられる。

### 4. 環境調査結果の報告について

水質調査、生物相調査、オオムラサキ生息状況調査、樹林等の復元・整備に関する調査、湿地環境の整備に関する調査について、事務局より報告され、以下の意見を述べた。

- ・魚類については、地点別の確認種リストなど、少し詳しい情報があった方が良い。
- ・生態系の観点から、魚類は重要な種だけでなく、一般的な種も注意した方が良い。
- ・オオムラサキの幼虫を移動する際は、同じエノキに生息するゴマダラチョウの幼虫も一緒に移動させた方が良い。
- ・エノキは小さいものや人工林の中も生育している場合があるので注意した方が良い。
- ・環境視巡については、できるだけ委員に同行いただく機会を設けた方が良い。

- ・ 今後、重要な植物の移植や樹林等の復元・整備の保全措置を行っていく上で、シカやイノシシの影響をどのように排除・軽減していくかが重要になってくるが、現段階では、例えば、重要な部分を網等で囲むといったことが考えられるものの、非常に難しい問題である。
- ・ 雨水路等に入り込んだ小動物保護のため、道路側溝からの這い上がり等の配慮を検討した方が良い。

#### 5. 専門部会の報告について

委員会に報告することとなっている専門部会の審議内容として、クマタカ調査、クマタカに関する保全目標、アダプティブマネージメントについて、事務局並びに部長より報告され、委員会として内容を確認した。

#### 6. 今後について

今後の主な検討事項について、事務局より説明され、保全措置の具体化に向けた当面の検討事項を確認した。

#### その他

- ・ 規約第3条及び5条について、事務局の組織名称の変更に伴い、一部変更があることを確認した。
- ・ 規約第5条3項に基づく「委員長があらかじめ指名する委員」について、古賀委員長から松井委員を指名する提案があり、了解が得られた。

以 上